

歴史資料収蔵館収蔵のすごろくを 市ホームページで公開

社家の清水家から寄贈された資料の中に、江戸時代から昭和初期にかけての色彩やかなすごろく約20点があります。大正時代から昭和初期にかけてのすごろくの一部を市ホームページで公開しています。



公開ページ

図教育総務課 ☎(235)4925

現物を歴史資料収蔵館で展示

市ホームページで公開中のすごろくの一部を展示しています。詳細は、

歴史資料収蔵館(☎232・3611)

へお問い合わせください。

期3月31日(日)まで時9時〜17時 場所河原口2・27・3(休)(月)(火)



大正少年双六

大正4(1915)年に博文館から刊行された『少年世界』の附録です。「年賀式」をスタートに「運動会」などのコマがあり、「奉祝」がゴールです。日常生活を学べる内容で、「二日一善」が一番の道徳とされていたことや、当時の大人が子どもに求めていたことをうかがい知ることができます。

地域とつながり、災害に備える 自治会に加入しませんか

図海老名市自治会連絡協議会事務局(地域づくり課内) ☎(235)4793

安心して生活できる住みよいまちを目指して、自治会はさまざまな活動を行っています。特に力を入れているのが防災です。いざという時に地域で助け合えるよう、自治会の活動を通して日頃から絆を深めています。



海老名市自治会連絡協議会ホームページ

自治会の防災への取り組み

● 自主防災組織の結成

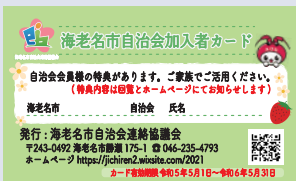
災害時、地域住民が円滑に活動できるよう、自治会長をリーダーとした「自主防災組織」を自治会ごとに結成しています。日頃から防災意識の啓発や避難経路の確認など、災害に備えた自主防災訓練を行っています。



自主防災訓練の様子

自治会の加入方法

居住する地区の自治会長へお問い合わせください。自治会長の連絡先は、海老名市自治会連絡協議会事務局で案内します。



自治会加入者には協力店舗で特典が受けられるカードを発行

● 地域の防災リーダー、防災指導員の育成

自主防災組織には、自治会から選任される市の研修・認定を受けた、防災指導員がいます。災害時に自治会長を補佐するほか、自主防災訓練の補助や地区の災害リストの検討などを行います。

● 防災備品の整備

自治会館などに防災倉庫を設置し、防災備品を備蓄しています。

● 地区防災計画の作成

自治会を中心として、地域の特性を考慮した「地区防災計画」の作成に取り組んでいます。

普通救命講習〔Ⅰ〕・上級救命講習

図警防課 ☎(231)0932

普通救命講習〔Ⅰ〕

心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使い方を学ぶ講習です。

上級救命講習

普通救命講習〔Ⅰ〕に筆記試験・実技試験が加わるほか、乳児・小児に対する心肺蘇生法、三角巾の使い方、骨折・やけどなどの処置方法と搬送方法を学ぶ講習です。

日〔Ⅰ〕4月19日(金)9時〜12時、〔上級〕26日(金)9時〜12時

場所

対市内在住・在勤・在学の中学生以上の方

定各回先着16人

費無料

申3月5日(火)9時から市ホームページで他修了者には修了証を交付。災害発生時などは中止・変更になる場合があります



申し込みページ



図環境政策課 ☎(235)4912

持続可能なより良い未来の実現を目指し、できることから始めてみませんか。
SDGsの17の目標を毎月1日号で紹介します。

第15回 えびな SDGs

私たちに できること



15 陸の豊かさも
守ろう

目標15 森林の減少、砂漠化、多様な生物の絶滅の恐れなど、人の活動や気候変動が原因で、陸の生態系のバランスが大きく崩れています。私たちは、食料・空気・水・ものづくりの材料など、陸の自然・生物からの恩恵なしでは生きていくことができません。陸の豊かさを守り、多様な生物との共生を目指しましょう。

FSC® 認証製品を選んで生態系を守る

適切な森林管理に貢献する紙製品などにはFSC®マークが付いています。FSC®マーク付き製品の購入を心掛け、生態系の保全を意識しましょう。



神奈川県立自然環境保全センター
ホームページ

自然への理解を深める

神奈川県立自然環境保全センターなどが開催するイベントに参加し、自然との関わり方や自然環境の保全と再生について理解を深めましょう。